

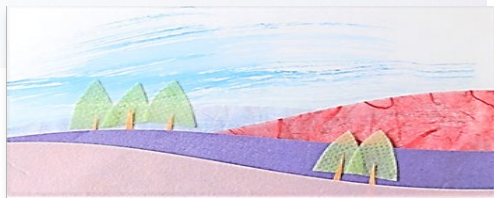


見にやぶる

喜ぶ顔が

親は子どもの

子どもは親の



子どもは 親の  
 親は 子どもの  
 喜ぶ顔が見たいものです

私には3人の孫がいます。もう少しで4人になりそうです。  
 自分が親の時は、わかっているようでわからなかったことです。  
 孫と親の関係を見ているとよくわかります。

そのことを丁寧に解説してあげることもあります。見守ることが多いです。  
 私が若かった時、今は他界している父母もそうだったのだと思います。当たり前なんです。なかなか上手に表現できなかった我が子への思いを 孫への接し方から学ぶことも多いです。

ケース会議では、複眼的発想が大切です。子育てはお父さんとお母さんで というスタンスはオギャーと生まれたときから始まっています。責任ある仕事があるからといって、私は妻に任せていた部分がたくさんありました。(今さらですが、私のことです。ごめんなさい。)中学校からでもかまいません。お父さん、ケース会議に参加してください。新しい発見が期待できます。この後の生き方に 我が子との関わりに少しずつ変化が見られます。お母さん お父さん 我が子・・・人生は、今ここという 刹那の連続です。

**分からないことを分からないと言う勇気を持つ。**

[エピソード] 恥ずかしがり屋で転校生だった私は、新しい学校で右も左も分からないのに、誰にもまったく質問をしないので、心配した先生がこの言葉をかけてくれました。恥ずかしがり屋を卒業しようと思いました。鹿児島県「うなぎのワンちゃん」さん(27歳)ヘルプ要請の声が出せないのは、小さな成功体験が少なかったのではないのでしょうか？聞かないこと 聞けないこと 聞くことが悪と感じてしまうように 自信がもてなくなりました。それが和らぐとなんと素敵なものが見えてきます。自分で悩んで待つ時間から アドバイス+編集力で次へのステップが今までと全く違う世界に変化します。学ぶ 学習するということは、こういうことなんだと気がついた瞬間、ぐんぐん成績が上がります。意欲的にもなります。生き生きしてきます。生活リズムも変化します。そんなアプローチができれば、最高ですね。